

5年 ふるさと山県について学ぶ「森と川の学校」

昨年度の5年生に続き、今年度も5年生が「森と川の学校」に参加しました。この事業は、山県市の未来を担う子ども達が、豊かな自然に恵まれた「ふるさと山県」に誇りを持ち、仲間と協働して「考え」「行動」する自然学習を行うことによって、自然の素晴らしさや自然との接し方について学ぶ機会として、6月26日から3日間にわたって実施されました。

第1日目は、「森の学校」です。午前中は「みやまの森」でフィールドワークを、午後は「山県市教育センター」でテント設営体験を実施しました。フィールドワークでは、森の散策をしながら、ガイドの先生から様々な種類の植物や生き物、鉱石について教えてもらいました。天気にも恵まれ、城山展望台から山県市の景色を見ることができました。テント設営では、班の仲間と協力して設営から



片付けまでを体験しました。事前に体験していましたが、改めてテント設営の難しさを感じることとなりました。

2日目は、北武芸公民館付近の武儀川で「川の学校」です。午前中は、自然を満喫しながら自然を守るために何ができるか見つけるミッションに取り組みました。午後からは、実際に川へ入り、水中の生き物観察や川遊び、救助練習などを行いました。また、夜はグリーンプラザみやまで初めての宿泊・キャンプファイヤーの体験もしました。



3日目は、2日間の体

験からテーマを決め、同じテーマの仲間と考えをまとめ、発表し合いました。

3日間を通して、学校では学ぶことのできない自然の美しさと怖さを身体で実感することができました。また、自分の考えをもち、仲間と考えを出し合い、方法を決断し、実行するという活動を通して、たくましさ身につけることができました。



6月・7月の様子から…

例年以上に早くから気温が上がり暑い日が続いています。プールでは学年の仲間と一緒に学習、運動場では学級遊び、花壇では委員会キャンペーンの草抜きと、コロナ前の景色が戻りつつあります。ご家庭でも、お子さんの学校生活について、ぜひ聞いてみてください。夏休み明けの学校生活も、楽しみです。

